



NMSH Topics 14 VOL.

February 2018

今月の

院長のイチオシ

【緩和ケア科】

緩和ケアチームの早期介入で
心身の痛みや苦しさを緩和
地域医療機関との連携も強固に

症状緩和のエキスパートが 緩和ケアチームを結成

当院が急性期対応の基幹病院であることを念頭に置き、緩和ケア科では癌治療早期からの介入と、迅速な疼痛管理の安定化を図り、早期退院と地域連携医療機関における緩和ケアを促しています。また、地域連携施設で癌治療あるいは緩和ケアを受けておられる患者さんに対する、あらゆる問題に対応しています。

緩和ケアは、病気や治療によって生じる痛みなどの苦痛な症状、不安などを和らげ、家庭や社会生活における問題に対処することで、その人らしく穏やかな生活が送れるように支援する医療です。治療の早い時期から緩和ケアを導入することで、つらい症状を緩和しながら治療を進めることができるため、病気が進行し

た時期だけではなく、診断時、あるいは治療開始時から並行して行われるべきものと考えています。

緩和ケアチームは、日本ペインクリニック学会ペインクリニック（疼痛緩和）専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、がん看護専門看護師、がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん専門薬剤師、日本精神神経学会精神科専門医、精神看護専門看護師（リエゾンナース）、ソーシャルワーカーなどで構成されており、各専門家が連携を取りながらチーム全員で患者さんとご家族を支援しています。

緩和ケア外来では、外来通院にて癌の治療を行っている患者さんの痛みやつらい症状などの緩和を行っています。現在治療を担当している先生と連携して行いますので、受診を希望される患者さんがおられましたら、相談の上で紹介状をご提供ください。

スタッフ紹介

職名	氏名	専門分野
部長・病院講師	鈴木 規仁	がん性疼痛、ペインクリニック
病院講師	源田 雄紀	臨床麻酔・ペインクリニック・神経障害性疼痛と遺伝子
助教・医員	岩崎 雅江	臨床麻酔・ペインクリニック
助教・医員	保利 陽子	臨床麻酔・ペインクリニック

実績

※診療・治療・手術・検査実施件数の年度推移など

介入件数	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
外来	201	231	332	411	596
入院	127	135	190	217	232

紹介時のお願（診察曜日午前のみ）

現在治療を受けている先生と連携して行いますので、担当医と相談していただき、紹介状をご持参ください。